

学校施設の老朽化対策、修繕・修理、トイレの洋式化を早急に行うことを求める決議

学校施設は子ども達の学習の場だけではなく、1日の大半を過ごす生活の場でもある。また災害時の避難場所に指定されている学校も20校あり、市民の命を守る拠点としての機能が求められる場所でもある。

しかし、本市においては老朽化が著しく進んでいる校舎が多く、学校施設は剥がれた天井や床、壁のヒビ、電気系統の故障、パイプの錆、壊れたドア、故障のため使用禁止のトイレが当たり前に見られる状態で、剥離したコンクリートが落ちてくる、パイプの錆が上から降ってくる、雨漏りがするという危険な箇所が多く見られるのが現状である。文部科学省は学校施設の維持管理は児童生徒の安全を守るために不可欠であるとし「常に健全な状態を維持できるよう、法令などに基づいて定期的に点検を行い、必要な修理、修繕等を速やかに実施することが必要」だと述べている。子ども達が安心安全に学校生活を送れる快適な教育環境づくりは本市にとって重要な事業であると共に必要なことである。

トイレについても、災害時に学校が避難場所になった際に、高齢者や障がい者を含めた多くの人を使用することが想定されることから、洋式化等の改善を早急に進める必要がある。

新年度を迎え、新入生の保護者から多くの切実な声が届いており、なかなか改善されない学校施設の修繕・修理を要望する学校関係者や地域住民の声も大きく、石垣市が取り組むべき課題であることから、当市議会として下記の項目を決議する。

記

- 1 教育予算への拡充を図り、学校施設の老朽化対策を計画的に実施していくこと。
- 2 児童生徒をはじめ、市民の安心・安全を守るため、早期に着実な施設修繕・修理を行うこと。
- 3 トイレの洋式化等の改善を早急に進めること。

以上、決議する。

令和5年5月22日

石 垣 市 議 会

宛先 石垣市長、石垣市教育長